＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

# 公益社団法人日本木材加工技術協会　第 39 回年次大会
# 木材加工技術賞受賞講演・企画講演
# （オンライン公開）
## 企画講演テーマ「都市木造が描く国産材への期待と課題」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

## 令和３年９月29日（水）13：00～16：40

【会場】

1. 道総研林産試験場（先着 20 名程度）
住所：旭川市西神楽１線 10 号（JR 富良野線　西瑞穂駅　徒歩５分）

2. オンライン視聴
（年次大会参加申込書で申込まれた方(有料)は，裏面申込書は要しません）



Ⅰ　木材加工技術賞受賞講演（第 65・66 回：２件）13：10～13：50

令和２年（第 65 回）受賞「針葉樹（主に北海道産トドマツ，カラマツ）による木質繊維断熱材の製造技術の改良及び性能の検証」
ウッドファイバー株式会社　　〇宮代博幸氏，堀　正臣氏，苫米地眞人氏

令和３年（第 66 回）受賞「シラカンバを主とした道産材による黒毛和種肥育牛用粗飼料の開発と実用化」
(地独)道総研林産試験場　〇檜山　亮氏，　株式会社エース・クリーン　中井真太郎氏
雪印種苗株式会社　阿部健太郎氏，　帯広畜産大学　口田圭吾氏

Ⅱ　企画講演　14：00～16：40

【講演内容】･･･都市木造が描く国産材への期待と課題

① 針葉樹の樹種特性と利用技術
(地独)道総研林産試験場　研究主幹　大橋義徳氏

② 道産針葉樹の加工・流通状況と課題
株式会社サトウ　代表取締役社長　松永秀司氏

③ 住宅および非住宅分野での国産材利用と課題
住友林業株式会社　筑波研究所　チームマネージャー　長島泰介氏

④ 都市木造に向けた国産材利用の課題と対応策
三菱地所株式会社　関連事業推進室　CLT WOOD PROMOTION ユニット　統括　海老澤渉氏

総合司会　　北海学園大学工学部建築学科　教授　植松武是氏

【企画講演趣旨】

国産人工林が大径化、利用期を迎えており、森林資源の循環利用を進めることが持続可能な森林経営やSDGsの達成においても重要となっています。全国の動きとして、木材があまり使われてこなかった都市部の木造化・木質化に向け、林業・木材産業・建築業の各団体からなる「森林を活かす都市の木造化推進協議会」や、国産材の利用拡大を目指すネットワーク組織「木材利用推進全国会議」が設立されるなど、公共建築や非住宅、商業施設の木造化・木質化推進への気運が高まっています。この結果、徐々に建築事例が増加の傾向にあり、全国各地で４階建て以上の中高層木造建築物も建ちはじめています。

本講演では、都市木造・木質化を有望な国産材市場と捉え、建築用製材としての利用が比較的進んでいるスギほかの針葉樹に焦点を当て、例えばカラマツ等針葉樹資源を豊富に有する北海道における素材生産と利用の現状、加工・流通の実情などを背景としておさえ、建築側からみる木造中高層ビルへの国産材利用の課題等について理解しながら、国産材の価値向上と木材利用の推進について考える機会にしたいと思います。



住友林業株式会社　提供



三菱地所株式会社　提供

---

## 第 39 回年次大会　講演参加・オンライン視聴申込書

| | |
|---|---|
| 氏名 | |
| 所属機関 | 機関名<br>所在地　〒<br><br>TEL:　　FAX:<br>E-mail: |
| 会員の別 | 正会員　　正会員(学生)　　団体会員　　賛助会員　　非会員 |
| 参加会場 | 1. 林産試験場　　2. オンライン　　(希望会場を選択ください) |

参加会場 1. は先着 20 名程度の予定です。会員・非会員を問わず(1.)参加・(2.)視聴が可能（無料）です。
オンライン参加のＵＲＬは，後日，E-mail にてご案内します。

【申込締切】令和 3 年 9 月 22 日（水）

【視聴申込先、問合せ先】

〒071-0198　北海道旭川市西神楽 1 線 10 号
（地独）北海道立総合研究機構林産試験場内
日本木材加工技術協会第 39 回年次大会実行委員会（担当：近藤佳秀）
ＴＥＬ：0166-75-4264　　ＦＡＸ：0166-75-3621
E-mail：jwta-hokkaido@abelia.ocn.ne.jp

共催：公益社団法人日本木材加工技術協会，一般社団法人北海道林産技術普及協会
後援：一般社団法人日本木材学会北海道支部，地方独立行政法人北海道立総合研究機構林産試験場